

# デジタルハリウッド大学

2019 年度 一般入学試験 A 方式

日本史問題(60 分)

## 受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子は開かないこと。
2. 携帯電話、スマートフォンなどの音が鳴るような電子機器は全て電源を切っておくこと。
3. 腕時計を持ってきている者は、予め机の上の見える位置に置き、試験中は触らないこと。
4. 試験開始前に監督から指示があったら、解答用紙の所定欄に氏名と受験番号を記入すること。
5. 監督から試験開始の合図があったら、この問題冊子を開き、20 ページ(白紙のページを含む)そろっているか確認すること。
6. 解答は、選択肢から正解と思うものを選び、解答用紙のマーク欄をぬりつぶすこと。マーク欄以外には何も記載しないこと。解答の際には、マーク欄の枠からはみ出したり、白い部分を残したり、そのほかの部分に記入したりしないこと。マークの例は、解答用紙を参照のこと。
7. 筆記用具は HB の黒鉛筆、または HB のシャープペンシルを使用すること。その他の筆記用具の使用は認めない。
8. マークを訂正する場合は、消しゴムで丁寧に消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 時計のアラームや計算機能、辞書機能などは一切使用しないこと。
10. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしないこと。
11. 試験中の退場は認めない。
12. この問題冊子と解答用紙は持ち帰り厳禁とする。試験終了後、ともに回収される。



第1問 次のA～Dの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A ①日本の旧石器文化は、多くの遺跡や遺物の調査によって、その存在が明らかになった。完新世（沖積世）になると、日本列島は大陸から離れ、現在に近い自然環境になった。環境の変化に応じて人々の生活も大きく変化し、②特徴のある狩猟・漁労・植物性食料採取の技術を持った縄文文化が成立した。縄文時代晩期には九州北部で水田稲作が開始され、紀元前4世紀頃、③西日本に水稲耕作を基礎とする弥生文化が成立して、やがて東日本にも広まった。弥生時代には各地に規模の大きな集落が成立し、④防衛的な施設を備えた環濠集落も出現した。そして、集落間の対立・抗争の中で、各地に「クニ」が形成された。

問1 下線部①に関して、旧石器時代と最も関係の深い遺跡または遺物を、次のうちから選べ。

- (1)板付遺跡 (2)唐古・鍵遺跡 (3)尖頭器 (4)石匙

問2 下線部②に関する次のa・bの記述の正誤の組合せとして正しいものを、あとのうちから選べ。

- a. 石槍などを用いて、オオツノジカなどの大型動物を捕えた。  
b. 釣針・銚などの骨角器を用いて、魚などを捕獲した。

- (1) a－正 b－正 (2) a－正 b－誤  
(3) a－誤 b－正 (4) a－誤 b－誤

問3 下線部③に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1)弥生土器として、煮炊き用の甕、貯蔵用の壺、盛付け用の高杯などがつくられた。  
(2)磨製石器の石包丁や、機織り技術などは、縄文文化を継承したものであった。  
(3)弥生時代には、水稲耕作は湿田のみで行われ、乾田の開発は行われなかった。  
(4)青銅製祭器の銅鐸は九州北部を、銅矛・銅戈は近畿地方を中心に分布している。

問4 下線部④の集落の遺跡として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 吉野ヶ里遺跡      (2) 岩宿遺跡      (3) 三内丸山遺跡      (4) 菜畑遺跡

B 3世紀前半には、地域的な小国連合が成立し、墓制でも、「小国の王」である首長層の墳丘墓などが営まれた。3世紀後半になると、西日本を中心に大規模な前方後円墳などの古墳が出現した。古墳文化の時代の始まりである。古墳には、竪穴式石室が営まれ、多数の呪術的な副葬品がおさめられた。古墳時代後期になると、⑤横穴式石室が一般化し、多量の土器が副葬されるなど、葬送儀礼の変化が見られた。

問5 下線部⑤に関する次のa・bの記述の正誤の組合せとして正しいものを、あとのうちから選べ。

- a. 墳丘の外部と玄室とを結ぶ通路を持つため、追葬が可能な埋葬施設である。  
b. 日本独自の埋葬施設で、最初に近畿地方に出現し、その後、全国に広がった。

- (1) a－正    b－正      (2) a－正    b－誤  
(3) a－誤    b－正      (4) a－誤    b－誤

C 6世紀半ばのヤマト政権内の物部氏と新興の蘇我氏との対立は、6世紀末、蘇我馬子の勝利に終わった。⑥推古天皇の時代には、東アジアにおける国際的な緊張を背景に、国家組織の形成が進められた。この頃、大陸文化の影響を強く受けた⑦飛鳥文化が興隆した。

問6 下線部⑥に行われたことを、次のうちから選べ。

- (1) 八色の姓の制定      (2) 第1回遣唐使の派遣  
(3) 改新の詔の発布      (4) 冠位十二階の制定

問7 下線部⑦の作品に該当しないものを、次のうちから選べ。

- (1) 中宮寺半跏思惟像      (2) 中宮寺天寿国繡帳  
(3) 法隆寺玉虫厨子      (4) 法隆寺阿弥陀三尊像

D 7世紀後半、天武天皇のもとで、中央集権的な国家体制の形成が進められた。次の持統天皇の時代には、中国の都城になった、最初の本格的な都城が完成した。この都城を中心として、⑧官立の大寺院が建立され、仏教中心の白鳳文化が開花した。

問8 下線部⑧に関して、白鳳文化期の官立寺院を、次のうちから選べ。

- (1) 四天王寺      (2) 広隆寺      (3) 薬師寺(本薬師寺)      (4) 飛鳥寺(法興寺)

第2問 次の略年表について、あとの各問いに答えよ。

757	養老律令が施行される ……………①
810	藤原冬嗣が蔵人頭となる ……………②
	↓X
858	( A ) が臣下で最初の実質的な摂政となる
884	( B ) が最初の実質的な関白となる
1028	平忠常の乱がおこる (～1031年) ……………③
1167	平清盛が太政大臣となる ……………④
1199	源頼朝が死去し、十三人の合議制が始まる
	↓Y
1285	霜月騒動がおこる ……………⑤
1350	北朝側の内部対立が武力対決に発展する ……………⑥
1392	南北朝の合体が実現する
	↓Z
1467	応仁の乱が始まる (～1477年) ……………⑦

問9 空欄 ( A )・( B ) に該当する人物名の組合せとして正しいものを、次のうちから選べ。

- (1) A－藤原良房 B－藤原基経 (2) A－藤原基経 B－藤原良房  
 (3) A－藤原道長 B－藤原頼通 (4) A－藤原頼通 B－藤原道長

問10 略年表中の①に関して、養老律令を施行した人物を、次のうちから選べ。

- (1) 藤原不比等 (2) 藤原仲麻呂 (3) 橘諸兄 (4) 橘奈良麻呂

問11 略年表中の②と最も関係の深い出来事を、次のうちから選べ。

- (1) 平城太上天皇 (薬子) の変 (2) 元弘の変  
 (3) 正中の変 (4) 応天門の変

問12 略年表中の③に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 陸奥で強大な勢力を誇り、国司と争ったが、源頼義・義家らによって滅ぼされた。
- (2) 東国の大半を占領して、自ら新皇と称したが、平貞盛らに討伐された。
- (3) 上総・下総・安房で反乱をおこしたが、源頼信によって鎮圧された。
- (4) 瀬戸内海の子を率いて反乱をおこしたが、源経基らに討伐された。

問13 略年表中の④に関して、平清盛についての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 娘の彰子を天皇の中宮に入れ、その子が天皇となると、外戚として権勢を強めた。
- (2) 平治の乱では、院近臣の藤原信頼と結んで、源義朝らと争った。
- (3) 鹿ヶ谷の陰謀が発覚すると、後鳥羽法皇を鳥羽殿に幽閉した。
- (4) 源頼政らが兵をあげると、都を摂津国の福原に移した。

問14 略年表中の⑤に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) この騒動では、有力御家人の和田義盛が滅ぼされた。
- (2) この騒動では、有力御家人の安達泰盛が滅ぼされた。
- (3) この騒動では、有力御家人の三浦泰村が滅ぼされた。
- (4) この騒動ののち、執権の北条時宗が平頼綱を滅ぼし、勢力を強めた。

問15 略年表中の⑥の武力対決を何というか。次のうちから選べ。

- (1) 阿衡の紛議
- (2) 天文法華の乱
- (3) 観応の擾乱
- (4) 中先代の乱

問16 略年表中の⑦に関して、応仁の乱の原因として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 将軍家（足利氏）内部での家督争い
- (2) 管領家の畠山氏内部での家督争い
- (3) 管領家の京極氏内部での家督争い
- (4) 細川勝元と山名持豊（宗全）の勢力争い

問17 略年表中の⑦に関して、応仁の乱に始まる戦国の争乱の中から、各地で戦国大名が台頭した。戦国大名に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 戦国大名は関所の廃止や市場の開設などを行い、商業取引の円滑化に努めた。
- (2) 戦国大名が定めた分国法（家法）には、幕府法・守護法を継承した法は見られない。
- (3) 代表的な分国法（家法）に、今川氏の制定した『塵芥集』などがある。
- (4) 安芸の守護であった毛利元就は中国地方で勢力を拡大し、戦国大名に成長した。

問18 略年表中のXの時期の出来事を、次のうちから選べ。

- (1) 遣唐使の停止
- (2) 承和の変
- (3) 安和の変
- (4) 健児の採用

問19 略年表中のYの時期の出来事を、次のうちから選べ。

- (1) 公文所の設置
- (2) 侍所の設置
- (3) 鎮西探題の設置
- (4) 引付の設置



問20 略年表中のZの時期の出来事に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 天龍寺の建立費用を調達するため、天龍寺船が元に派遣された。
- (2) 有力守護の赤松満祐によって將軍の足利義持が暗殺された。
- (3) 幕府に反抗的な行動をとった鎌倉公方の足利持氏が討ち滅ぼされた。
- (4) 幕府の当面の政治方針を示した建武式目が発表された。

第3問 次のA～Dの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A ①1543年にポルトガル人を乗せた中国船が種子島に漂着したことが契機となって、ポルトガル人やスペイン人による②南蛮貿易が始まった。この貿易は、③キリスト教の布教活動と一体化して行われた。

問21 下線部①の時、日本にもたらされた鉄砲は、戦国大名の戦術に大きな影響を与えた。1575年におこった、足軽鉄砲隊の活躍で知られる戦いを、次のうちから選べ。

- (1) 桶狭間の戦い      (2) 賤ヶ岳の戦い      (3) 長篠合戦      (4) 山崎の合戦

問22 下線部②に関する次のa・bの記述の正誤の組合せとして正しいものを、あとのうちから選べ。

- a. 南蛮人は鉄砲・火薬などを日本にもたらし、日本の生糸などと交換した。  
b. 主な貿易港は、薩摩の平戸、豊前の府内などであった。

- (1) a－正    b－正      (2) a－正    b－誤  
(3) a－誤    b－正      (4) a－誤    b－誤

問23 下線部③に関して、キリスト教を日本に伝えたフランシスコ＝ザビエルについての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) プロテスタントのイエズス会（耶蘇会）の宣教師であった。  
(2) 大内義隆・大友義鎮（宗麟）らの大名の保護を受けた。  
(3) ザビエルの勧めで伊東マンショらの使節がローマ教皇のもとに派遣された。  
(4) ザビエルのあとに来日したガスパル＝ヴィレラは『日本史』を著した。

B 戦国時代の群雄割拠の中から抜け出したのは、④織田信長であった。信長は、領地を拡張するたびに検地を行ったほか、安土の城下町などに楽市令を出した。信長の天下統一事業を受け継いだ豊臣（羽柴）秀吉は、全国にわたって⑤太閤検地や刀狩を行った。また、秀吉は、近隣諸国に対して強圧的な態度で臨み、⑥朝鮮に二度にわたって出兵した。

問24 下線部④と関係の深い次の a～c の出来事を年代の古い順に正しく並べたものを、あとのうちから選べ。

a. 石山本願寺の屈服      b. 室町幕府の滅亡      c. 姉川の戦い

(1) a → b → c      (2) b → a → c      (3) b → c → a      (4) c → b → a

問25 下線部⑤に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 土地に対する権利の重なりが整理され、一地一作人とされた。
- (2) 土地の生産高を示すのに貫高制が採用された。
- (3) 枡の容量が宣旨枡に統一された。
- (4) 領主に土地台帳を提出させる指出検地であった。

問26 下線部⑥と直接関係のないものを、次のうちから選べ。

(1) 対馬の宗氏      (2) 亀甲船      (3) 李成桂      (4) 壬辰・丁酉の倭乱

C 関ヶ原の戦いに勝利を収めた徳川家康は、豊臣政権の後継者としての地位を固めた。家康は、秀吉の強圧的な外交態度とは異なる親善外交策をとり、⑦貿易の振興をはかった。江戸幕府は当初、貿易奨励のためにキリスト教の布教を黙認していたが、家康の死後、禁教が徹底された。島原の乱（島原・天草一揆）ののちには、⑧貿易の相手国もオランダと清国に限定された。

問27 下線部⑦に関して、江戸時代初期の貿易は、渡航を許可する朱印状を交付された朱印船によって行われた。この貿易に従事した人物として誤っているものを、次のうちから選べ。

- (1) 支倉常長 (2) 茶屋四郎次郎 (3) 末吉孫左衛門 (4) 角倉了以

問28 下線部⑧に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) オランダ商館長（カピタン）は、将軍の代替わりごとに江戸に参府した。  
(2) 清国との間で己酉約条が結ばれ、設置された倭館で貿易が行われた。  
(3) 両国からの輸入増による銀の流出を抑えるため、糸割符制度が廃止された。  
(4) 長崎に雑居していた清国人の居住地を限定するため、唐人屋敷が設けられた。

D ⑨4代将軍の徳川家綱の時代、由井（比）正雪の乱（慶安の変）がおこると、幕政は文治政治に転換され、それは5代将軍の徳川綱吉の頃にいっそう顕著になった。一方、綱吉の時代には幕府の財政が破綻に瀕したため、幕府は⑩最初の貨幣改鋳を行った。⑪6代将軍の徳川家宣の時代には、儒教の理想主義に基づいた政治が展開された。

問29 下線部⑨に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) この時代の文治政治は、将軍を補佐した大老の堀田正俊によって推進された。  
(2) 末期養子の禁止が緩和され、殉死が禁止された。  
(3) 江戸の湯島に、孔子を祀る湯島聖堂が建てられた。  
(4) 閑院宮家が創設され、天皇家との結びつきが強化された。

問30 下線部⑩の貨幣改鋳を徳川綱吉に上申した勘定吟味役（のちに勘定奉行）は誰か。次のうちから選べ。

- (1) 間部詮房 (2) 荻原重秀 (3) 柳沢吉保 (4) 前田綱紀

問31 下線部⑪の政治の中心となった人物を、次のうちから選べ。

- (1) 林鳳岡（信篤） (2) 藤原惺窩 (3) 新井白石 (4) 池田光政

第4問 次のA・Bの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 第一次世界大戦によって好況を迎えた日本経済は、大戦が終わると、一転して①慢性的な不況に陥った。さらに、日本経済は、1923年におきた関東大震災で大打撃を受けた。

②経済の回復を試みる政府の政策が十分な成果を上げられない中で、多くの産業分野では企業集中やカルテル結成などの動きが強まり、財閥が日本の産業を支配するようになった。その一方で、③凶作や農産物価格の下落による農家の困窮、都市における失業者の増大などにより社会不安が高まった。そのため民衆や一部の軍人などの間では、財閥や政府・政党への反感が強まった。こうした反感を持ち、社会不安に危機感を抱いた④陸海軍の青年将校や右翼運動家らによる国家改造運動が活発化し、その影響下で斎藤実内閣や広田弘毅内閣が成立した。

問32 下線部①に関する次のA～Cの出来事を年代の古い順に正しく並べたものを、あとのうちから選べ。

- A. 手形の処理法案を審議する過程で、大蔵大臣の失言により、取付け騒ぎがおこって休業する銀行が続出し、恐慌がおきた。
- B. 海運業や造船業の好況による好景気は、ヨーロッパ諸国の復興に伴って終わり、輸入超過による国内生産の低下、株式市場の暴落を口火に恐慌がおきた。
- C. ニューヨークの株式市場における株価の暴落に端を発した世界恐慌が日本にも波及し、政府の為替対策の失敗も加わって恐慌がおきた。

- (1) A→B→C      (2) A→C→B      (3) B→A→C
- (4) B→C→A      (5) C→A→B      (6) C→B→A

問33 下線部②に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 田中義一内閣は、金融をめぐる混乱を收拾するためにモラトリアムを発した。
- (2) 第1次若槻礼次郎内閣は、緊急勅令によって台湾銀行を救済した。
- (3) 浜口雄幸内閣は、物価を安定させるために金輸出を再禁止した。
- (4) 加藤高明内閣は、日本銀行総裁の井上準之助を蔵相に迎え、金輸出を解禁した。

問34 下線部③を背景とした出来事に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 合法的な社会主義政党（無産政党）である労働農民党が結成され、議会を通じての改革を目ざした。
- (2) 活動を活発化させた日本共産党に脅威を感じた浜口雄幸内閣は、三・一五事件などで共産党員を一斉に検挙した。
- (3) 社会主義運動などの取締りを強化する目的で治安警察法が改正され、最高刑が死刑・無期となった。
- (4) 人口が集中する東京・大阪・名古屋の各警察に特別高等課が初めて設置され、社会主義者の検挙や取締りなどにあたった。

問35 下線部④に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 五・一五事件は陸軍の青年将校らによるクーデタで、この事件によって岡田啓介内閣が倒され、広田弘毅内閣が成立した。
- (2) 二・二六事件は海軍の青年将校らによるクーデタで、この事件によって犬養毅内閣が倒され、斎藤実内閣が成立した。
- (3) 斎藤実内閣は、満州事変が勃発すると、不拡大方針を声明したが、世論やマスコミは軍の行動を支持した。
- (4) 広田弘毅内閣は陸海軍による帝国国防方針の改定に基づいて「国策の基準」を決定し、軍備拡張計画を推進した。

B 1920年代から1930年代初めにかけての日本外交は、欧米に対しては協調外交路線をとり、ワシントン体制の枠組みの中で、⑤国際秩序を維持しようと努めた。しかし、中国に対する政策の面では、満州における権益を確保する姿勢は変わらず、経済的・軍事的な進出を続けたため、⑥中国国内の政治的な不安定も加わって、武力衝突などの事件がおこった。

世界恐慌は国際関係にも大きな影響を及ぼした。すなわち、アメリカ・イギリス・フランスなどの国は、国際協調よりも自国中心の排他的な経済政策を採用し、日本は中国への進出をいっそう進めた。⑦日本の中国東北部（満州）における行動はアメリカ・イギリスなどの不信感呼びおこし、日本は国際的に孤立していった。国際的な孤立を深めた日本は、ドイツ・イタリアとの提携に活路を見いだそうとし、国内では、⑧国民の生命と財産を戦争に動員するための体制を整えていった。そして、中国での戦争の長期化を打開し、戦争の継続に必要な資源を獲得することを目的として北部仏印に進駐した。さらに、南部仏印にも進駐したことなどから、アメリカ・イギリスとの対立は決定的となり、1941年12月、ついに⑨太平洋戦争に突入した。

問36 下線部⑤に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 日本は、戦艦など主力艦の保有量を取り決めたロンドン海軍軍縮条約に調印した。
- (2) ロンドン海軍軍縮条約の調印に踏み切った阿部信行首相は、東京駅で狙撃された。
- (3) 日本国内では、ロンドン海軍軍縮条約の調印をめぐる、統帥権干犯問題がおこった。
- (4) ロンドン海軍軍縮条約は、日本・アメリカなど9カ国の間で結ばれた。

問37 下線部⑥に関する次の a・b の記述の正誤の組合せとして正しいものを、あとのうちから選べ。

- a. 国民革命軍による北伐に危機感を抱いた日本は、日本人居留民の保護を名目に、3次にわたる山東出兵を行った。
- b. 満州を直接支配しようと考えた関東軍は、満州軍閥の張作霖が乗った列車を爆破し、張作霖を殺害した。この事件は当時「満州某重大事件」と呼ばれた。

- (1) a－正 b－正
- (2) a－正 b－誤
- (3) a－誤 b－正
- (4) a－誤 b－誤

問38 下線部⑦に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 関東軍は、清朝最後の皇帝溥儀を執政として、満州国の建国を宣言させた。
- (2) 関東軍は、奉天郊外の盧溝橋で南満州鉄道の線路を爆破し、中国軍のしわざとして軍事行動をおこした。
- (3) 国際連盟がリットン調査団の報告をもとに、日本に対して満州国から撤兵することを勧告したため、日本はこれを不満として国際連盟を脱退した。
- (4) 日本は日満議定書によって満州国を承認したが、満州国政府の実権は日本人官僚が握っていた。

問39 下線部⑧に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 政府は国家総動員法によって、議会の承認を得ることなしに戦争の遂行に必要な物資や労働力を動員することができるようになった。
- (2) 枢密院議長を退いた東条英機が主導した新体制運動は、官製の上意下達機関である大政翼賛会として結実した。
- (3) 日中戦争が始まると、林銑十郎内閣は国民精神総動員運動を展開し、国民の戦意高揚をはかった。
- (4) 国家総動員法に基づく勅令として発布された国民徴用令によって、中学校や女学校の生徒が工場に動員されるようになった。



問40 下線部⑨に関する次のA～Dの出来事を年代の古い順に正しく並べたものを、あとのうちから選べ。

- A. サイパン島の陥落
- B. B29による東京大空襲
- C. 学徒出陣の開始
- D. ミッドウェー海戦

- (1) A→B→D→C
- (2) A→D→B→C
- (3) D→A→B→C
- (4) D→C→A→B





